

おん な み な み
【国道58号恩納南バイパス】
『令和8年度内 全線完成開通予定』

《開通内容》

- 路線名：国道58号^{おん な み な み}恩納南バイパス
- 区間：^{おん な そん}恩納村字南恩納～^{な か ど ま り}同村字仲泊
- 開通年度：令和8年度内
- 事業概要：^{おん な み な み}恩納南バイパスは、本県有数のリゾート地である当地区の観光シーズンにおける交通混雑の緩和及び沖縄自動車道へのアクセス向上により、観光産業の支援を図ることを目的とする道路です。



【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所
副所長 川間 重一 (内線：204)
工務課長 伊良波 憲 (内線：411)
調査課長 宮城 かおり (内線：451)
TEL 0980-52-4350(代) (受付時間：平日 9～17時)
ホームページ：http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/index.html

国道58号恩納南バイパス

全線完成開通予定

おんな みなみ
恩納南バイパス 延長6.5km(4車線)

2→4車線化

(起) 恩納村字南恩納
おんな
みなみおんな

(終) 恩納村字仲泊
おんな
なごまり



凡 例	
事業中	---
開通済	—



延長0.2km
H28.3.31(4/4)
開通済

延長1.0km
R2.4.24(4/4)開通済

延長4.2km
H10.4.1交差点開通済
H21.11.1 (2/4) 開通済

延長1.1km
H10(4/4)
開通済



写真① 起点側を望む



写真② 沖縄科学技術大学院大学交差点



写真③ 3号橋より起点側を望む



写真④ 3号橋より終点側を望む

撮影日:R8.4.8

撮影日:R8.4.8

撮影日:R8.4.8

撮影日:R8.4.8

おん な みなみ 恩納南バイパスのストック効果

①円滑なモビリティの確保 [交通渋滞の緩和]

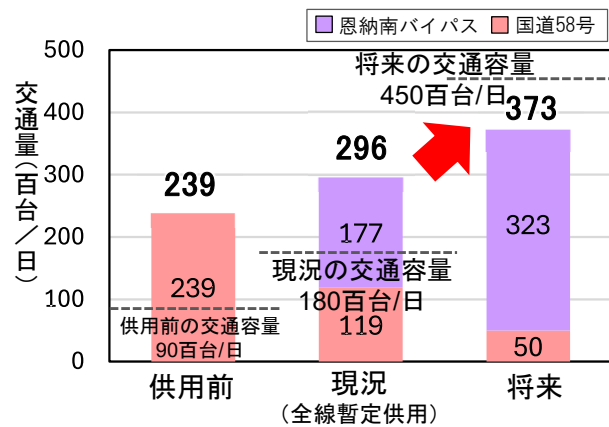
- 恩納南バイパスの整備により、国道58号、バイパス（暫定供用）から交通転換が図られ、当該事業区間の混雑緩和が見込まれる（図1）
- 恩納南バイパスの全線4車線供用により、国道58号仲泊交差点～恩納交差点区間の年間渋滞損失時間*が約9割以上削減することが見込まれる。

国道58号仲泊交差点～恩納交差点（整備なし：173.6万人時間/年→ 整備あり：3.3万人時間/年）（図2）

※渋滞損失時間：渋滞により余計に要した移動時間

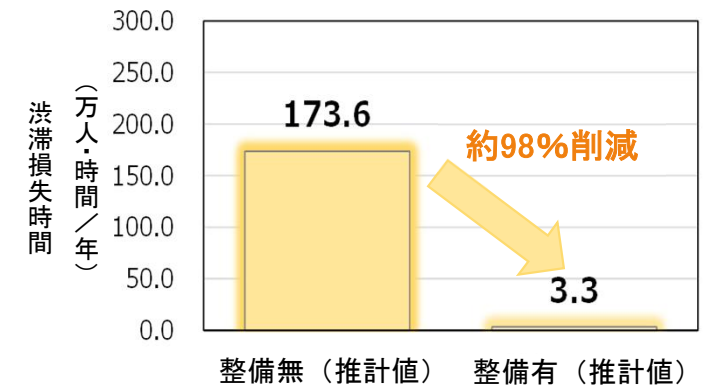
●（図1）交通量の変化

○恩納南バイパス並行区間(A-A'断面)



資料：【供用前】平成21年8月25日（火）調査結果
 【現況】令和7年8月20日（水）調査結果（仲泊交差点）
 【将来】将来交通量推計結果（令和22年度）
 ※交通容量とは、当該道路が一定時間内に安全かつ円滑に通行させることのできる交通量

●（図2）国道58号（仲泊～恩納）の渋滞損失時間の変化



資料：将来交通量推計結果（令和22年度）

- 路線バスは国道58号を通行しており、恩納南・恩納バイパスの全線暫定2車線の供用により、渋滞が減り、定時性が向上したことで遅延の苦情が減少しました。
- 4車線化による更なる定時性の向上が旅客利便性向上や運転士の疲労軽減に繋がることに期待しています。

資料：バス事業者ヒアリング調査（R7.8）結果より

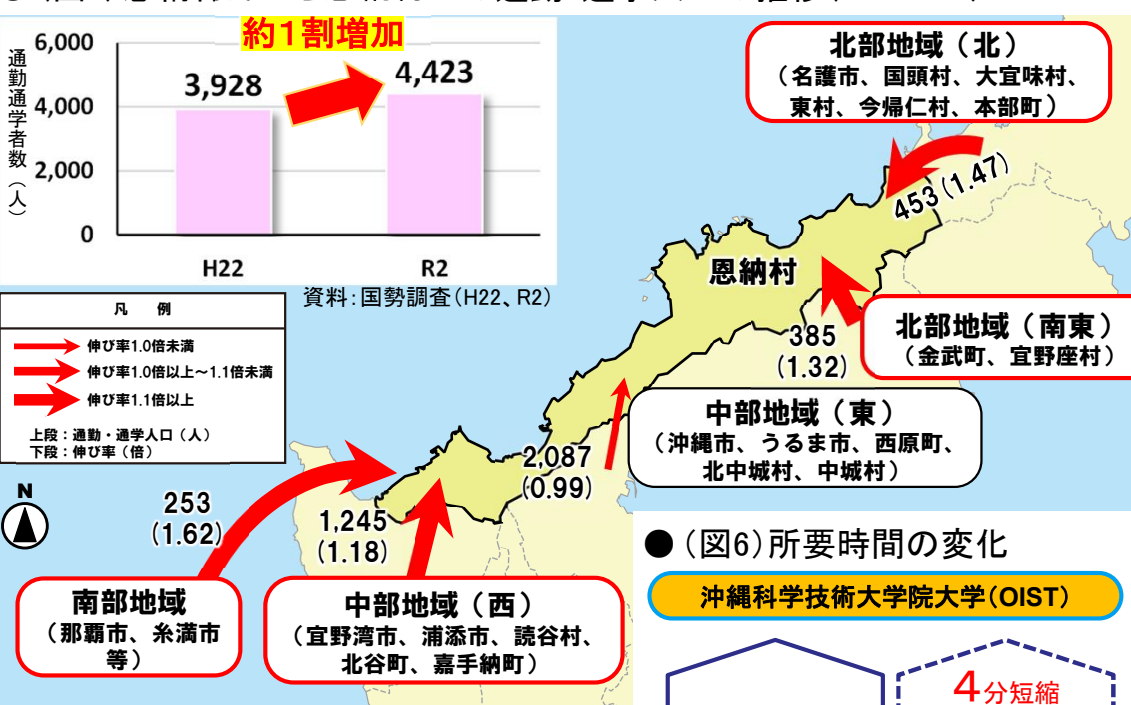


おんなみなみ 恩納南バイパスのストック効果

②通勤の支援[交通渋滞の緩和]

- 恩納村では、近年、村外（特に南部地域、中部地域（西）、北部地域（南東））からの通勤・通学者数が増加しており、村内の従業者数も増加している。（図3、4）
- 恩納南バイパス沿線の沖縄科学技術大学院大学（OIST）では約1,100人の研究員等の雇用があり、令和元年と比較して約2割増加している。また、OISTでは1,650人の雇用や新たな施設を増築・増設する将来計画があり、今後は更に通勤者数等が増加する見込みである。（図5）
- 今後も通勤者等の増加が見込まれる中、恩納南バイパスの整備による移動時間の短縮により、通勤移動の支援が図られる。（図6）

●（図3）恩納村外から恩納村への通勤・通学人口の推移（H22⇒R2）



■ 沖縄科学技術大学院大学（OIST）

日本政府により創設された、科学分野の5年一貫制博士課程を置く、学際的な大学院大学



（図5）OIST関係者数推移（R1.5⇒R7.5）



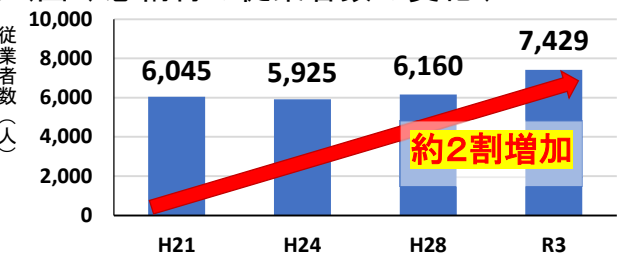
H22年の第1研究棟供用後
第5研究棟まで増設

将来は第9研究棟等の
新たな増設・増築を計画

関係者数は**増加傾向**
（6年で約2割増加）

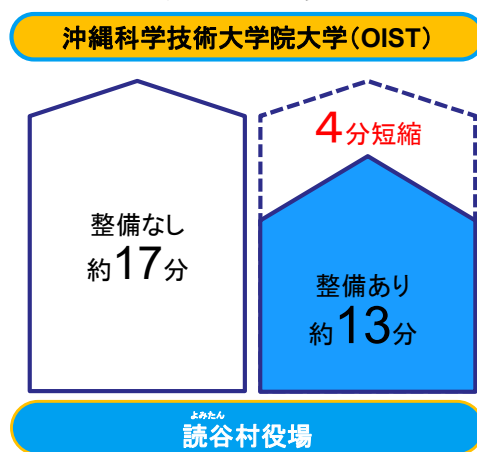
将来は1,650人を雇用

●（図4）恩納村の従業者数の変化（H21⇒R3）



資料：経済センサス 活動調査（H21、H24、H28、R3）

●（図6）所要時間の変化



資料：平成22年度全国道路・街路交通情勢調査

- OIST関係者はほとんどが自動車通勤しています。
- 恩納・恩納南バイパスが整備されたことで、通勤時間が短縮したと感じています。
- 恩納・恩納南バイパスは時間帯によって混雑が発生しているため、4車線化による混雑緩和に期待しています。



※整備ありはBP部完成4車区間を設計速度60km/hで試算

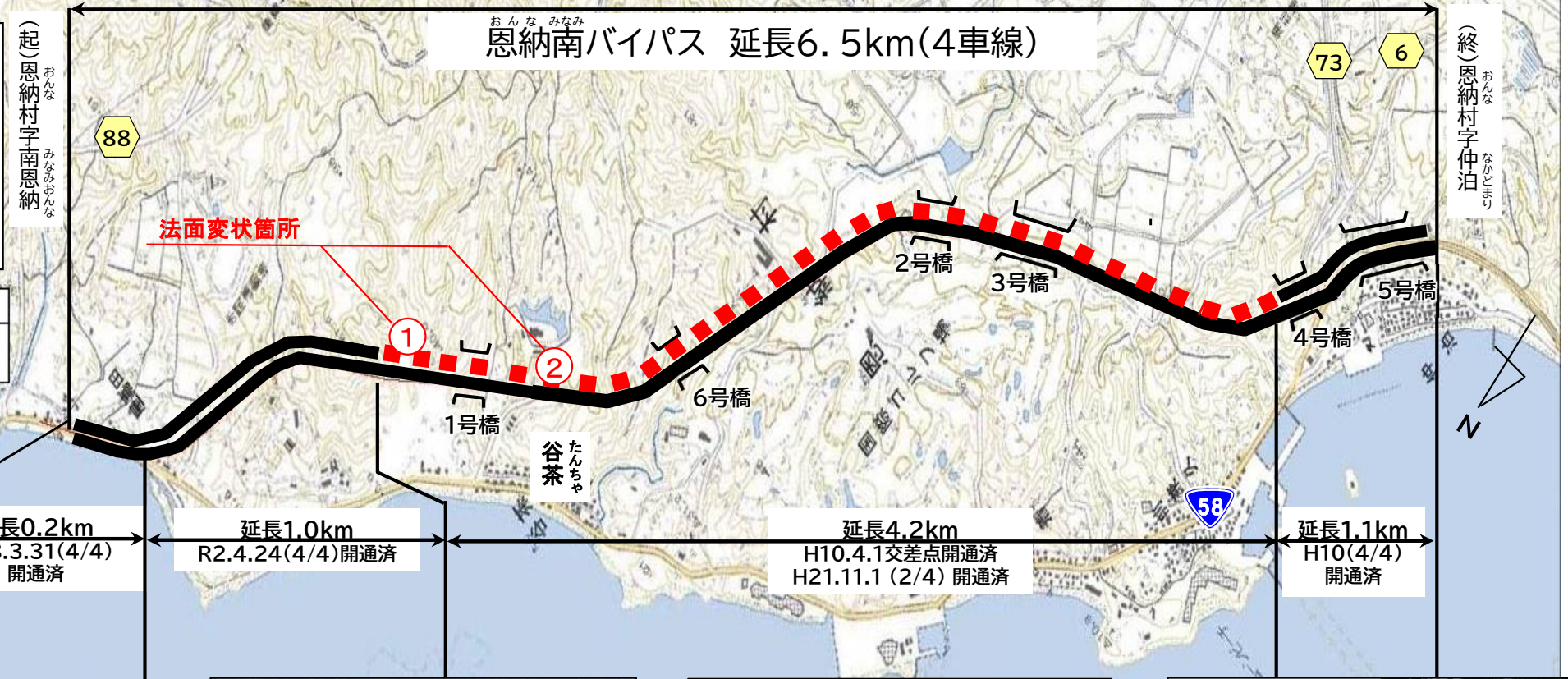
資料：恩納村役場ヒアリング調査（R7.8）結果より

国道58号恩納南バイパス

- 近年、恩納南バイパスやその周辺地域では、大雨などの影響で法面崩落が発生
- 令和7年度に法面点検を実施したところ、2か所で対策が必要な法面変状を確認
- 今般、法面对策が完成したため、令和8年度内の開通を予定



凡 例	
事業中	--- (Red dashed line)
開通済	— (Black solid line)



1号橋付近の法面(変状・対策状況)



OIST交差点付近の法面(変状・対策状況)

